

令和8年度 社会福祉学部 一般選抜 後期日程

【出題意図】

高等学校卒業程度の基礎学力，論理的思考力，文章理解力，設問の趣旨に沿って適切に論述できる力を問う。

【解 答】

問1（解答例）

農業の立場は，障害者などの福祉的労働力を使って生産性を維持向上させることが目的となり，利益が評価の基準となる。一方，障害者福祉の立場では，農業労働の対価として工賃を得られる農福連携という手段を通じて，障害者が人として張り合いのある日々や健やかな時間が送れるかという福祉的な役割を主たる目的としている。（150字）

（採点基準）

- ・ 本文の内容をふまえて書かれていること

＜農業の立場＞ ①障害者などを「労働力として使いたい」

②農業の「生産性を維持向上させたい」

③上記の①と②による「利益を重要な評価基準にしている」

＜福祉の立場＞ ①（主たる目的ではなく，手段として）農業を利用して「工賃を得たい」

②農業を利用して「人として張り合いのある日々や健やかな時間をもてるようにしたい」

③上記の①と②による「福祉的な役割を重視している」または「福祉の向上を目的としている」

- ・ 字数制限が守られていること
- ・ 誤字脱字がないこと

問2（解答例）

個別の解答が予想されるため，解答例は示さない。

（採点基準）

- ・ 自分の意見が論理的に述べられていること

①障害者が生きにくくなっている原因に対して，農福連携を通じて障害者が生きやすくなる方法（可能性）について論じている。

②障害者が働きにくくなっている原因に対して，農福連携を通じて障害者が働きやすくなる方法（可能性）について論じている。

③農福連携が農業にとっても障害者福祉にとっても有益な方法になっている。

④障害者が生きやすく，働きやすい農福連携のあり方を実現するうえで困難になる部分を考慮し，その克服に向けた課題についても論じられている。

- ・ 字数制限が守られていること
- ・ 誤字脱字がないこと